

ボランティア連絡協議会の会員研修

「どうする？ 災害時の食事・トイレ」

7月22日(金)、海老名市ボランティア連絡協議会内部研修として「防災講座」が開催され、海老名災害ボランティアネットワークから当講座の講師として参加させて頂きました。

前半は市の危機管理課の職員からコロナ感染対策と避難所について他3点を説明。後半は当会(海老名災害ボランティアネットワーク)から、「身の安全を守る方法」「災害時の食事(回転備蓄、パッキング)」 「トイレの話」を3人で役割分担をしてお話しました。

初めに、身の安全を守ることが第一であること、その時の姿勢なども含め話しました。次に食事については、パッキングの見本として、調理したものを見て頂いたのでイメージすることができたと思います。新型コロナ蔓延防止なども考慮し、試食はしませんでした、「食べてみたい」といった声もありました。

最後に、トイレのことは、避けて通れない難題です。固めて貯めておく方法が、現状では最適な選択だと考え話しました。質問では、「処理袋などどこで販売しているのか?」「どのようにして貯めておくのが良いか?」などありました。時間がなくて中途半端な感じになったのが残念でしたので、今日の話聞いて、ここまでやってみた、次はどうしたら良いのか?など継続した開催の呼びかけもしました。

本講座の受講者は32名、終了後も展示品の周りで質問を受けるほど盛況でした。今後もこのような機会をとらえ、お話しをできればと思います。

(三宅)



【研修風景】



【パッキングの見本(袋に入ったままの状態、左側)】



【トイレ処理用品などの展示】